

テンブリドSCによるアリの侵入防止試験 (実地効力試験)

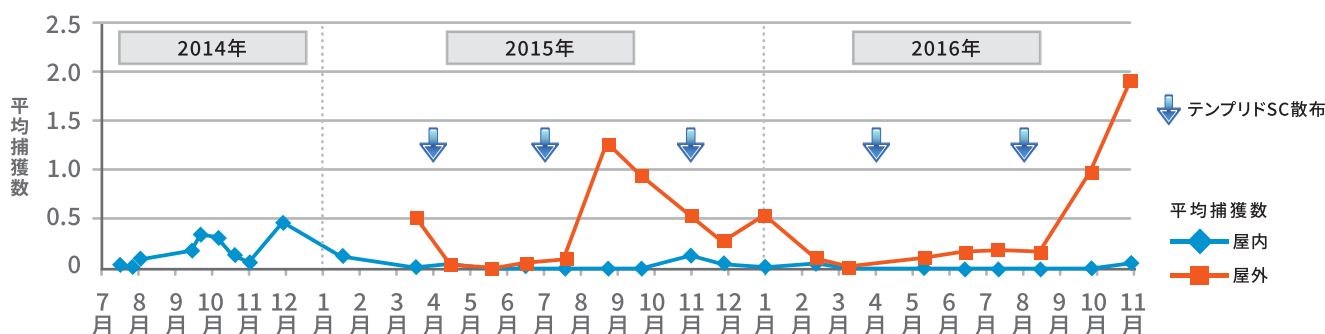
1 物件概要

東京都新宿区 某中華料理店 雑居ビル1F、厨房と客席を合わせ100㎡程度の施設

2 試験

2014年7月から2015年4月を試験前のモニタリング期間試験とし、アリの1トラップ1日当たりの平均捕獲数(全てのアリの合計)を記録、その後2015年4月より外部から店舗内へのアリの侵入を防ぐために、テンブリドSC(200倍希釈、50mL/㎡)の建物外周への帯状処理と、窓枠や配管などへの処理を行った。その間、トラップを屋内及び屋外に設置し、約1か月毎に調査し、平均捕獲数を記録した。

3 結果



- 2014年7月から始めた調査の中で、1.0未満ではあるが、比較的高い活動があり、アリの侵入が観察された(小型のヒメアリ種が主であった)。
- 2015年4月、7月に、試験方法に則りテンブリドSCによる処理を行った。4月から7月にかけて一定の平均捕獲数低下がみられた。屋外のトラップの平均捕獲数も低下した。
- 2015年8月以降、屋内の平均捕獲数は低いレベルが維持されたが、屋外のトラップでは平均捕獲数の上昇傾向がみられた。また、店主より、屋内でのアリの活動(主にオオズアリ)が10月に報告されたため、11月に再処理を行った。
- その後、屋内の平均捕獲数指数は低めに推移しているが屋外は指数が上がり始めた。
- 2016年には、4月と8月に同様の処理を行い、同様に屋内に関しては低い平均捕獲数が維持され、屋外においては3か月ほどで指数が上がり始めた。

4 考察

2014年の無処理期間と比べ、2015年及び2016年で、同様の試験結果(散布後に屋外平均捕獲数の低下、及び屋内での平均捕獲数の低密度維持)が得られていることから、テンブリドSCによる建物外周処理が一定のアリの侵入阻止効果があり、屋内での活動を一定期間抑制できることがわかった。効果の持続期間に関しては、屋外のトラップでの平均捕獲数の結果推移から、本試験においては2ヵ月～3ヶ月くらいと推定される。

アリに関する試験：見取り図

トラップ設置日：

屋内 2014年7月 / 屋外 2015年3月

トラップ：①～⑮

